

天童市の天童高（高橋久美子校長）保健福祉系列の3年生8人が、手話で使う指文字を記した布カードを作成し、同市社会福祉協議会に贈った。

訪問介護の実習でお世話になったことへのお礼の品で、手作りならではのぬくもりとかわいらしさあふれる仕上がりになっている。

## 天童高生 「指文字」記した布カード作成



作成した指文字の布カードを手にする天童高保健福祉系列の3年生

天童市

市社協地域福祉係の後藤宏樹係長（49）は「早速、市内の手話サークルに貸し出し、小学校での出前授業で活用してもらった。かわいらしいので、小さな子どもたちも興味を持ってくれそう」と話した。（落合白慶）

さん（18）は「フェルトを切り抜いたり、縫い合わせたりするのが難しかったけれど、100点満点の出来。ぼろぼろになるまで使い込んでもらい、手話に興味を持つ人を増やしてほしい」と語った。

## 実習の返礼、市社協に贈る

布カードは、フェルト生地（縦21センチ、横15センチ）の50音をどのよう指の形で表すかを1音ずつ紹介し、「あ」から「ん」まで、「あかさたな…」の行

同系列3年の浅野目遥香

# 手話 興味持って

ごとに一つづりになっている。各つづりの一番下になる部分には汚れ防止のフェルトを1枚付けており、かわいらしい立体細工の飾りを施す遊び心を加えた。